

育て！未来の科学者・研究者

本学で「三重ジュニアドクター養成プログラム」開催

本プログラムは第1段階である一年目は観察・実験講座を中心に進め、特に高い能力を示す児童生徒に対しては、年目を第2段階として大学の研究室で研究指導を行い、科学技術コンテストへの参加をめざす。

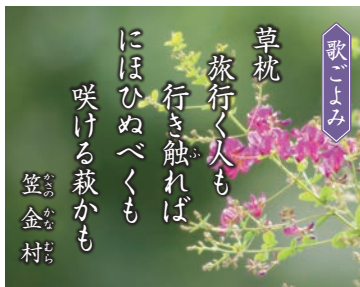


科学技術イノベーションを牽引する次世代の人材を発掘し育てようと、国立研究開発法人・科学技術振興機構が推進する「ジュニアドクター育成塾」。その一環として今年「三重ジュニアドクター養成プログラム」が開催。県内五つの開催エリアのうちDエリアを担当する本学で七月二十九日、一回目となる講座が実施された。

皇學館 学 園 報

第76号

平成30年10月



■注目記事

地域連携 2面

CLL活動レポート 産学官連携で「伊勢ヒロメうどん」完成

アカデミック 3面

岡田登名誉教授が宮川上流域で弥生時代の装飾品発見

カルチャー&スポーツ 4面

作品が50本を突破！
皇學館大学 大学生テレビ局

アクティブスチューデント 5面

家族の日常をありのままに捉えた作品で最優秀賞・文化庁長官賞受賞！
松田朋子さん(皇高3年)ほか

高中トピックス 6面

2018年度オープンスクール ほか

インフォメーション 7面

倉陵祭のご案内 ほか

8面

2年連続出場！
秩父宮賜杯 第50回 全日本大学
駅伝対校選手権大会応援ガイド

発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大 学
大学院 文学部 教育学部
専攻科 現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

教員をめざす学生の資質向上の場にも

ジュニアドクター育成塾は全国的に開かれているが、三重では今年度が初めて。中心となつて「三重ジュニアドクター養成プログラム」を実施する三重大学から開催地の一つとして呼びかけがあり、「理科に興味を持つ子どもと接することが学生にも刺激になると考え引き受けた」

と教育学部の中松豊教授は語る。同プログラムには選抜された県内の小中学生四十名が参加。七月二十八日に三重大学と同大サテライト、本学あわせ五つのエリアで開講式が同時開催され、翌二十九日は本学教育研究棟生物実験室にてDエリア第一回となる講座が行われた。

Dエリアを受講するのは小学

サポート

した教育学

科三年の中

川真帆さん

は「実験を

一過性のイ

ベントでは

なく、連続

して受ける中

で論理的思考を養

う機会にしてい

たい」と教

員をめざす立

場から感想を話

した。中松教授は「学生には育成

塾のさまざまな先生の講座を受

け、学びを深めてほしい」と期

待を述べ、受講者には「仲間と

協力・対話し、多様な視点から

真実をあきらかにしていく研究

者としての礎を得てほしい」と

育成に向け思いを語った。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

初めて見た

事象に驚い

た様子だっ

た。

は「解剖し

たら中に幼

虫がたくさ

んいた」と

Regional Collaboration 地域♡連携

平成30年度 神社関係者懇談会・協議員会を開催

9月17日、伊勢志摩サミットの会場となった「志摩観光ホテル ザ クラシック」にて「平成30年度神社関係者懇談会」及び「協議員会」が合同開催され、全国より149名にお集まりいただいた。



開宴に先立ち、佐古一洸理事長は平素より格別のご支援を賜っていること、また、本学へのご理解・ご協力に対し謝辞を述べた。続いて清水潔学長が研究・教育に関する様々な取組みが着実に成果を上げていることを報告した。その後、ご来賓を代表して鷹司尚武神社本庁統理より本学に対する期待のお言葉を賜った。続いての懇談会では、小松揮世久神宮大宮司による乾杯のご発声の後、しばしの歓談に。終始和やかな雰囲気包まれる中、最後は吉川通泰神社本庁副総長のご挨拶にてお開きとなった。

第3回全国高校生SBP交流フェアに400名超

ビジネスの手法で地域課題の解決に取り組む高校生が交流する「全国高校生SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）交流フェア」が8月17日、18日の両日、本学をメイン会場に開催され、全国から28団体、高校生約220名が集った。



本学現代日本社会学部教授で同フェアの主催者である一般社団法人「未来の大人応援プロジェクト」の代表理事を務める岸川政之氏

活動内容を競うコンテストには19団体が出場し、県内からは松阪商業高校、相可高校、南伊勢高校南勢校舎の3校が参加。南伊勢高はご当地キャラの「たいみー」をかたどった「たいみー焼き」や南伊勢町の特産品である海藻・ヒロメの販促活動について紹介。審査員から「ヒロメ入りのあんを作ってはどうか」と提案されると、「ヒロメは歯ごたえが特徴。粉末にするとワカメと変わらなくなる」と開発に向け試行錯誤した様子をうかがわせた。夜には伊勢市駅近くの伊勢銀座新道商店街で商品販売会が行われ、多数の来場客で賑わった。なお、文部科学大臣賞は浜松学芸中学校・高等学校（静岡県）、三重県知事賞は中部大学春日丘高等学校（愛知県）が受賞した。

365名の保護者が参加 萼の会地区別懇談会

本年度も萼の会地区別教育懇談会が8月25日～9月2に全国8会場（神戸・伊勢・浜松・名張・名古屋・福岡・津・四日市）で開催され、365名の保護者にご参加いただいた。



個別懇談会（四日市会場）

いずれの会場でも「全体会」「個別懇談会」「懇親会」が行われたが、津会場では教員や企業に勤務する卒業生との懇談ブースを設け、より現実的な進路相談ができたり、四日市会場では岩崎正彌准教授によるミニ講義（40分）「日本の文化を学ぶ意義」を実施し保護者に大学の講義を体験していただいた。

「萼の会」は本学の保護者会の名称で、学生を「花」に、保護者を花を支える「萼」に例えたことに由来する。学生の開花・結実を保護者・教職員双方で支えるため、今後とも萼の会の行事にぜひご参加いただきたい。



「自分が楽しいと思えるものには積極的に挑戦し、ヒロメのように伸び伸びと過ごしていけたら」と笑う森谷さん（左端）。「伊勢ヒロメうどん」は固いため未利用となっていた茎をペースト化し麺に練り込んであり、豊かな風味ともちもちした食感が持ち味

七月十九日、本学学生食堂にて「伊勢ヒロメうどん」のお披露目会が実施され、関係者らが試食を楽しんだ。九月中旬から六百食限定で本学学生食堂や三重県庁の食堂などで提供され、本格的な販売は来年一月頃を予定している。

＊ヒロメとは、丸いうちわ状をしたワカメ属の大型海藻。熊野灘を中心に自生しており、柔らかい食感とところみが特徴。血圧上昇抑制機能が高い。



パネル交流会では今年度行われている24のCLL活動のうち16活動が紹介された

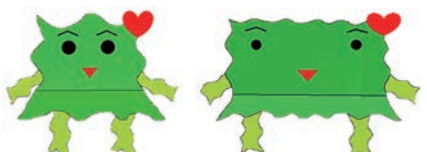
品を練り込んだうどんを販売したが、たくさん売れ残ってしまった。マーケティングの難しさを知った」といった失敗談が語られた。それに対し、コメンテーターである自治体職員や民間企業の方々は「一生懸命取り組み、失敗はしてよい」「失敗があった方が記憶に残る」「失敗をスタートに次の対策を練り、また挑戦を繰り返すことで初めて成長できる」等の激励とアドバイスを送り、皆で失敗の本質を分析、共有し成功につなげられるよう、議論を深めた。

CLL活動「大紀町漁業活性化プロジェクト」から生まれたアイデアが、産学官の連携によって形になった。その名も「伊勢ヒロメうどん」だ。

熊野灘に面する大紀町錦漁港は定置網によるブリ漁で知られる好漁場。しかし、この一帯で海藻・ヒロメの収穫が盛んなことはあまり知られていない。そこで、平成二十八年に立ち上げられた同プロジェクトでは四名の学生が参加し、新たな特産品としてヒロメを使った「うどん」を提案。翌年、三重大学東紀州サテライトが中心となり試作を開始し、大紀町や紀北町をはじめ三重県、魚々錦会、石原商店、百五銀行、百五総合研究所、イーナバリ、山口製麺、魚国総本社の協力を得て製麺化に

成功した。

プロジェクトメンバーの森谷俊介さん（現日三年）は「既存のものには必ずナンバーワンが存在があり、知名度や実績で敵わない。それなら奇抜でオンリーワンの商品を作り、ナンバーワンにしていけばいい」と話す。また、ヒロメ



森谷さんが考案したマスコットキャラクターの「ひろめちゃん」(左)。水を吸うと伸び続けるヒロメの性質を表現するため、通常と水を吸ったバージョン(右)の2種を作成

産学官「伊勢ヒロメうどん」完成 連携で

大紀町漁業活性化プロジェクト

「失敗」を共有・分析し次に生かす

伊勢志摩で共に暮らし続けることのミライを考えあうシンポジウム vol.4

本学の地(知)の拠点整備事業（CO事業）恒例の公開シンポジウム「伊勢志摩で共に暮らし続けることのミライを考えあうシンポジウム vol.4」が九月九日、六号館六二一教室において開催され、来場者約五十名による活発な意見交換が行われた。

「CLL活動での失敗」をテーマにしたフューチャーセッションではCLL活動に参加している学生たちがそれぞれの経験を発表。「リーダーとして頑張らなくてはと思った結果、自分の仕事がどんどん増えてしまい、抱えきれなくなった。もつとはじめから仲間を信じて頼ればよかった」「東京のイベントで地元の特産



初めての試みとして今年度は司会、進行、記録をCLL活動の参加学生が務めた

離島の課題と魅力を知る

伊勢志摩定住自立圏共生学実習 in 答志島

七月二十二日、八月三・四日の三日間、答志島・島の旅社が受入先となり伊勢志摩定住自立圏共生学実習が行われた。参加した現代日本社会学科三年の伊藤沙耶花さん、谷口紗緒里さん、堀口綾香さんは同社スタッフと共に現地で海女小屋体験や路地裏散策、シーグラスを使ったアクセサリー作りなどを経験。都会にはないゆったりとした時間の流れや島全体が家族のような仲の良さ、島民の温かい



独得の風合いがかわいいシーグラス

人柄などが印象に残ったようだ。

一方、課題について三人全員が「若者や子どもが少ない」と指摘。島に魅力を感じ移住に興味を持ってもらえるよう、若い人向けの旅行プランの企画やツイッター、インスタグラム、フェイスブックといったSNSでの情報発信、空き家を活用したカフェ・休憩所の開設等を解決策として挙げた。また、「離島は不便」との先入観を持っていたが、ネットで注文できたり、むしろ不便さを好んでいたりと島民が苦にしていけない現状を知り、安易にマイナスのイメージで見ていた点を反省したと語った。

島民との交流を通してコミュニケーション力も養えたと話す三人。今回の実習で得た貴重な学びを就職活動など今後発揮してほしい。



女性の感性が生かせる、シーグラスを使ったアクセサリー作り。右上は完成作

快晴の中、 皇學館DAYを開催

秋晴れとなった9月17日、三重県総合文化センターにおいて「皇學館DAY」が開催され、大学・高等学校・中学校合同の学校相談会及び皇學館高等学校吹奏楽部第11回定期演奏会(津会場)が行われた。

午後2時に開設した学校相談会ブースには大高中それぞれ相談者が訪れ、保育士等就職を見据え取得できる資格について尋ねる姿や、英語教育に関して質問する姿が見受けられた。午後4時からは皇學館高等学校吹奏楽部第11回定期演奏会・津公演が開演。東海吹奏楽コンクールで金賞を受賞した際の演奏曲「メトロポリス1927」や「アンパンマン」などのアニメコレクション、懐かしの歌謡曲を披露した。笑いあり、感動ありのパフォーマンスに3時間の公演はあっという間に過ぎ、およそ1700名の聴衆からは惜しめない拍手が送られた。



体験型イベントが好評 オープンキャンパス2018

「体験型」の企画・イベントが好評を博している本学のオープンキャンパス。今年度第1回『「学び」発見DAY』は6月10日、第2回『「学び」体験DAY』は7月14日・15日、第3回『「未来」発見DAY』は8月9日に開催され、のべ2435名(生徒1568名、付添867名)にご参加いただいた。いずれの日も多彩な催しが行われ、「模擬講義」では印象の良いコミュニケーションの取り方を学んだり(教育)、漢字の読み方から日中の交流史を紐解く(国史)など、専門性の深いテーマで授業が展開された。「学生Cafe」では学生がゼミやクラブ活動についてざっくばらんに語り、来場者の質問にきめ細かく答えていた。参加者アンケートでは「大学生の先輩と直接話すことで、パンフレットだけでは分からない大学の雰囲気や学科の学びを知ることができた」「個別相談コーナーでは学科教員の方が直接質問に答えてくれるので、入学前の不安を取り除けた」などの感想が寄せられ、満足度の高さがうかがえた。なお、『「大学祭」同時開催DAY』は10月27日(土)を予定している。学生の声や学風を実感していただくためにも、一人でも多くの方にご参加いただきたい。



平成30年度 フィールドワーク日程一覧

引率教員		日 程	目的地・方面
国 内			
神道	加茂 正典 黒田 宗篤	9/10(月)～13(木)	山口・福岡・長崎
	松本 丘	9/12(水)～14(金)	伊豆・鎌倉・横浜
	板東 洋介	9/10(月)～13(木)	秋田
	中山 郁	9/16(日)～19(水)	山形
国文	大島 信生	9/11(火)～14(金)	福岡・佐賀
	齋藤 平	9/11(火)～14(金)	岩手
	田中 康二	9/11(火)～14(金)	東北・東京
	中川 照将	9/11(火)～13(木)	京都
国史	岡野 裕行	9/9(日)～13(木)	東京
	小堀 洋平	9/12(水)～15(土)	東京
	上野 秀治	9/10(月)～13(木)	鳥取・兵庫
	岡野 友彦	9/11(火)～14(金)	東北
教育	松浦 光修	9/11(火)～13(木)	鹿児島・山口
	遠藤 慶太	9/10(月)～13(木)	福岡・佐賀
	多田 貴道	9/10(月)～14(金)	近畿・九州・中国
	中松 豊	8/2(木)～10(金)	東京・小笠原諸島
現日	富永 健之 橋本 雅之	9/10(月)～13(木)	東京
	岩崎 正彌	9/4(火)～7(金)	東京
海 外			
神道	河野 訓 コミ ユ 張 轟	9/12(水)～16(日)	カンボジア
国文	上小倉一志 松下 道信	9/17(月)～20(木)	台湾
コミ ユ	豊住 誠 川村 一代 クリストファー・メイヤー	9/9(日)～13(木)	シンガポール

七月六日、伊勢市役所の記者クラブで、宮川上流の支流大内山川流域の遺跡で、六月十日に採集した弥生時代中期末(約二千年前)の装飾品、管玉と磨製石鏃について、記者発表を行いました。

宮川上流域は、弥生時代の遺跡が極めて希薄なところですが、私に確認されている遺跡について、今回三重県下でも極めて稀な管玉と磨製石鏃を、大紀町大内山駒所在の松原遺跡で、同時に採集しました。管玉は、日本海側でしか産出しない緑色凝灰岩製で、長さ八ミ、径一・九ミ、孔径〇・九ミの、極めて高度な技術で作られたものです。また、磨製石鏃も、灰色粘板岩製で、長さ三一・九ミ、幅二・二ミ、厚さ二・四ミ、重さ一・三ミで、儀礼・祭祀用と考えられます。両者は、五〇センチほど離れた畑地で採集されたので、墓に副葬された可能性がります。弥生時代の玉類や磨製石鏃は、名張市や津市以北の大規模な拠点集落や墳墓で出土しており、当地でこれらの品を入手した背景を考えると、熊野灘の海産物と内陸、奈良県と大阪府との県境にある二上山産の石器素材サヌカイトとの交易をする中で、当地の首長が手に入れたのではないかと考えます。

この遺跡から山を越えた東方、直線距離で約八キロの大紀町錦は、『日本書紀』に神武天皇が大倭へ討入る時に、上陸した熊野荒坂津、別名丹敷浦の有力な候補地であり、八咫鳥に導かれて、山中を大倭へ向かった山道を考える上で注目されます。今後、さらに調査研究を進めていきたいと思っています。

なお、来年一月開催予定の講演会「考古学、この一年の歩み」で、実物をお見せしたいと思っています。



「磨製石鏃(左)・管玉(右)」
このニュースは朝日や読売など新聞6紙に掲載された

宮川上流域で 弥生時代の装飾品発見

皇學館大学名誉教授 岡田 登

フィールドワーク報告記

九月を中心に平成三十九年度フィールドワークが実施され、国内は十八、海外へは三つのグループが学びの地へ赴いた。以下に学生のコメントを紹介する。

①自身のテーマ ②現地での発見・学び ③今後に生かしたいこと

堀江 一宏(神道・松本ゼミ)
【目的地】伊豆・鎌倉・横浜
つた見方や深い考え方で訪れたい。初めての土地は漫然と通り過ぎるのではなく、視野を広げ、興味を持って訪れたい。

梅山 瑞加(国文・齋藤ゼミ)
【目的地】岩手県

泰道 華澄(国史・多田ゼミ)
【目的地】近畿・九州・中国

ジンギスカン、ひつつみなどご当地料理をいただいたことで、食文化の観点からも学べた。③私たちが何気なく使っている言葉にも興味を持つ。

シンガポールと日本との違いを知ること。またシンガポールで話されている「シングリッシュ」



アジア文明博物館(コミユ)



小笠原諸島(教育)

①言語調査を行い、語り部の方の話を聞く中で岩手県の方の語彙を知ることが多い。特に三嶋大社での正式参拝は厳粛な空間で執り行われる儀式に心身ともに清められ、清々しい気持ちになった。また、同じコースでも人それぞれに観点や視点が異なる。皆で知恵を出し合い学び合う大切さを実感した。③過去に訪れた場所でも、今までとは違

①史跡、神社、博物館を通して多角的に歴史を学ぶ。②建物の技法や当時の人々のすごさなど、文字史料だけでは伝わらないことが分かり、現地に足を運ぶ大切さを改めて実感した。少しでも興味のある場所には妥協せず提案し、ぜひ行くべき。一見関係ないと思っても追究するとつながりがある。③今後の史料探し、史料批判に今回のフィールドワークで学んだ多角的・計画的好奇心を生かし、より深く歴史・時代・人を学べるようにしたい。

①一度も大陸とつながっていないと強く思った。

小河 優花(コミユ・豊住ゼミ)
【目的地】シンガポール

畑野 健(教育・中松ゼミ)
【目的地】東京・小笠原諸島(父島)

①多民族、多言語国家である

①一度も大陸とつながっていない

原諸島の魅力や自然保護の重要性を伝えていきたい。

Culture & Sports
カルチャー&スポーツ

男子10名、女子3名が全国大会
個人戦に出場

皇學館大学 柔道部

9月29日・30日に開催される全日本学生柔道体重別選手権大会(男子37回・女子34回)への切符をかけ、8月26日に愛知県武道館で行われた東海大会。同大会で本学柔道部は6名が優勝、7名が準優勝という好成績を収め、男女あわせて13名が全国大会への出場を決めた(下表参照)。なお、男子は10月20日、21日に兵庫県尼崎市のバイコム総合体育館で実施される全日本学生柔道体重別団体選手権大会へも出場する。

全国大会出場選手

階 級	氏 名	学科・学年	性別
60kg級	瀬 古 翔 洋	教育4年	男
66kg級	勝 野 肇 章	コミ4年	男
73kg級	山 下 洸 樹	現日3年	男
	長 澤 透	現日4年	男
81kg級	太郎丸 裕 平	教育4年	男
90kg級	衛 藤 力 也	国史2年	男
	牛 丸 了 英	国文4年	男
100kg級	南 里 方 紀	現日3年	男
	井 落 竜 大	教育4年	男
100kg超級	加 納 成	国文3年	男
63kg級	石 井 咲 帆	教育2年	女
	浅 井 萌 加	教育4年	女
78kg超級	上林山 未 来	教育1年	女

皇學館高校 平成30年度
全国大会各クラブの結果

インターハイ

バドミントン部	男子団体	●2回戦進出
	男子個人	ダブルス 荒 木 那 智・矢形健太郎 ●2回戦進出 シングルス 矢形健太郎 ●2回戦進出 荒 木 那 智 ◆初戦敗退
	女子団体	●2回戦進出
	女子個人	ダブルス 山 本 綺 音・辻 井 彩 加 ●2回戦進出 シングルス 山 本 綺 音 ●2回戦進出 辻 井 彩 加 ●2回戦進出
剣 道 部	女子団体	◆予選リーグ敗退(1敗1分) 玉野友香理 ●2回戦進出
	女子個人	高 宮 彩 花 ●2回戦進出 斉 藤 さ ち ●2回戦進出
	男子個人	早川明日斗 ◆1回戦敗退
	男子個人	田 中 悠 貴 棒高跳び ●5位入賞 大 井 悠 八種競技 ●15位 藤 本 大 樹 走幅跳 ◆予選敗退
陸 上 部	男子個人	◆予選グループで敗退
	男子個人	宮 本 や ほ ●ベスト16 瀬 古 蘭 奈 ◆初戦敗退
柔 道 部	男子個人	◆予選グループで敗退
	男子個人	宮 本 や ほ ●ベスト16 瀬 古 蘭 奈 ◆初戦敗退

全国高校総合文化祭

写 真 部	松田 朋 子 ◆最優秀賞・文化庁長官賞
	向 原 千 裕 ◆入賞なし
	尾 間 彩 葉 ◆入賞なし

表現力豊かにスピーチを披露
第13回 皇學館中学校・高等学校
英語スピーチコンテスト

今年で13回目を迎えた「皇學館中学校・高等学校英語スピーチコンテスト」が8月18日に開催され、中学生27名、小学生65名と、県内各地からたくさんの参加をいただいた。小学生ピギナーの部では「西表島」、アドバンストの部では「日本の自動車産業」をテーマに英文を暗唱。中学生の部では「尊敬している人」・「忘れられない体験」・「日本語の魅力」のテーマから1つを選んでスピーチを行った。どの部においてもアイコンタクトやジェスチャーを効果的に交えながら表現力豊かにスピーチを披露する姿が印象に残った。

グローバル化が進む中でますます求められる英語力。このコンテストをきっかけに、英語のコミュニケーションスキルを一層磨いていてもらいたい。

◆コンテスト優勝者

小学生	
ピギナーの部	上 尾 紬 さん(松阪市立第一小学校)
アドバンストの部	柴原彩羽 さん(伊勢市立浜郷小学校)
中学生の部	
ロヴィエ・エンジェル・ステファニー・ダガナトさん	(伊勢市立倉田山中学校)



独自の切り口で伊勢志摩の良さを伝えると同時に自分磨きの場でもある大学生テレビ局

「伊勢からの学徒出陣」「からあげ井の詩」「伊勢のゲストハウス 風見荘」など、いずれも制作者の思いと個性が存分に発揮された作品ばかり。局長の村上かなえさん(国文三年)は「大学を二歩出ればネタだらけ。二十名のメンバー全員が毎月めげずに企画書を提出しています」と視点の多彩さに自信をみせる。伊勢志摩の魅力を問うと、「人」と即答。「海女のお待がかる。」



You Tubeで
配信中!



まゆ人形作りに真剣に取り組む参加者たち

この教室は、日本の伝統文化や郷土文化に関する体験を通して、日本人の感性や心を学んでもらうことを目的にしており、今年で二十四回目の開催となる。

今回の教室は、日本の伝統文化や郷土文化に関する体験を通して、日本人の感性や心を学んでもらうことを目的にしており、今年で二十四回目の開催となる。

- 英語がうまく話せなくても、単語同士を並べたり、ジェスチャーで何とかなることがわかった。
- 知っている英語で会話ができたことは自信となり、もっとがんばろうと思えた。
- 実際のラインに入ること、仕事を大変さや責任の重さを感じることができた。
- コミュニケーションがとれると仕事もスムーズに、楽しく行えることがわかった。
- マレーシアが親日国である理由について、歴史的観点から知ることができた。
- 一年間休学して留学をしてはどうかとアドバイスをいただき、真剣に考えるようになった。

作品が五十本を突破！
独自の視点で伊勢志摩の魅力を伝える

皇學館大学 大学生テレビ局

地域の魅力を学生目線で伝えてきた大学生テレビ局が開局五年目となる今年、作品数五十本を突破。質の高いドキュメンタリー番組と朝日新聞デジタルで報じられるなど、注目を集めている。

「伊勢からの学徒出陣」「からあげ井の詩」「伊勢のゲストハウス 風見荘」など、いずれも制作者の思いと個性が存分に発揮された作品ばかり。局長の村上かなえさん(国文三年)は「大学を二歩出ればネタだらけ。二十名のメンバー全員が毎月めげずに企画書を提出しています」と視点の多彩さに自信をみせる。伊勢志摩の魅力

「伊勢からの学徒出陣」「からあげ井の詩」「伊勢のゲストハウス 風見荘」など、いずれも制作者の思いと個性が存分に発揮された作品ばかり。局長の村上かなえさん(国文三年)は「大学を二歩出ればネタだらけ。二十名のメンバー全員が毎月めげずに企画書を提出しています」と視点の多彩さに自信をみせる。伊勢志摩の魅力

「伊勢からの学徒出陣」「からあげ井の詩」「伊勢のゲストハウス 風見荘」など、いずれも制作者の思いと個性が存分に発揮された作品ばかり。局長の村上かなえさん(国文三年)は「大学を二歩出ればネタだらけ。二十名のメンバー全員が毎月めげずに企画書を提出しています」と視点の多彩さに自信をみせる。伊勢志摩の魅力



愛らしい作品群

十九組の親子が
まゆ人形作り楽しむ

神宮徴古館・農業館、佐川記念神道博物館 共催
夏休み親子教室「まゆ人形をつくらう！」

八月六日(月)、神宮徴古館・農業館と佐川記念神道博物館の共催による夏休み親子教室が、神宮徴古館を会場として開催された。予定していた一回目の七月二十九日(日)は、台風により中止とさせていた

今回の教室は、日本の伝統文化や郷土文化に関する体験を通して、日本人の感性や心を学んでもらうことを目的にしており、今年で二十四回目の開催となる。

今回の教室は、日本の伝統文化や郷土文化に関する体験を通して、日本人の感性や心を学んでもらうことを目的にしており、今年で二十四回目の開催となる。

今回の教室は、日本の伝統文化や郷土文化に関する体験を通して、日本人の感性や心を学んでもらうことを目的にしており、今年で二十四回目の開催となる。

今回の教室は、日本の伝統文化や郷土文化に関する体験を通して、日本人の感性や心を学んでもらうことを目的にしており、今年で二十四回目の開催となる。

Global
グローバル

「海外に出る」必要性に気付く

平成三十年度 海外インターンシップ(マレーシアプログラム) 報告

クロバー電子株式会社様のご協力による海外インターンシップマレーシアプログラムは、本年度で三回目を迎えた。参加希望者が過去最多となったものの、マレーシア現地法人のAOBA ELECTRONICS CO.での就労体験を充実させるため、四名という狭き門で選抜された。

七月三十一日、出発に先立ち、学生は事前指導を受講。そして八月十九日、日本が猛暑の中、さらに暑いマレーシアへ発ち、翌二十日から三日間の就労体験を行った。最初は日本語が通じない環境で非常に苦労したようであるが、日を重ねるごとにコミュニケーションをとるコツを会得し、試行錯誤しながら課せられた業務をこなした。また、取引先の工場見学のほか現地役員の前で発表するなど様々な体験をし、さらには現場の従業員の皆様に温かく迎えていただき、就労体験にとどまらず、マレーシアの方々と心も通わせたようだ。



現地の担当者(本学卒業生含む)の皆様と懇談

- 英語がうまく話せなくても、単語同士を並べたり、ジェスチャーで何とかなることがわかった。
- 知っている英語で会話ができたことは自信となり、もっとがんばろうと思えた。
- 実際のラインに入ること、仕事を大変さや責任の重さを感じることができた。
- コミュニケーションがとれると仕事もスムーズに、楽しく行えることがわかった。
- マレーシアが親日国である理由について、歴史的観点から知ることができた。
- 一年間休学して留学をしてはどうかとアドバイスをいただき、真剣に考えるようになった。

アクティブ スチューデント Active Student

高い志とチャレンジ精神でもって学内のみならず、さまざまなフィールドで活躍している皇學館生たち。本コーナーでは彼らの熱い思いとともに、その活動ぶりをご紹介します。

家族の日常をありのままに捉えた作品で 最優秀賞・文化庁長官賞受賞!

第42回 全国高校総合文化祭

8/7~11 ◆ 長野

松田朋子さん(皇高3年)

皇學館高校3年・松田朋子さんの作品「夏の夜」が第42回全国高校総合文化祭「写真部門」において最優秀賞・文化庁長官賞に選ばれた。審査員は「これほど生活感溢れる写真は部外者では絶対に撮れない。ありのままを捉えるのはドキュメンタリーの基本。本質を見せようとしている作品に久しぶりに出会えた」と絶賛。松田さんは「夕食後の父と母のいつもの光景をカメラに収めたかった。受賞は『まさか』という気持ち。このような素晴らしい賞をいただきとても嬉しく思う」と喜びを語った。じつは、この作品の撮影から約1週間後、松田さんの父親が急死。松田さんは「写真に興味を持ったのは、写真を撮ることが好きだった父の影響」と言い、受賞の知らせが初盆供養の直前に届いたことから、「亡き父からのエールだと受け止めている」と話した。

写真の魅力について、「撮ったときの社会の様子や人の生き様を、何十年先の未来まで記録として残しておけるところ」と表現する松田さん。大会を振り返り、「カラー写真や構図を意識した作品に刺激を受けた。また、講評に『良い作品だ』との言葉があり嬉しかった。これまでは自分の撮りたいものだけを撮っていたが、今後は他の人に感動してもらえるよう心掛けたい」と新たな挑戦への意欲を熱く語った。



「夏の夜」

初挑戦のインターハイ 棒高跳びで5位入賞

平成30年度 高校総体(インターハイ) 7/26~8/20 ◆ 三重・岐阜・愛知・静岡・和歌山

田中悠貴さん(皇高3年)

スポーツの杜伊勢で行われた高校総体・陸上競技(8/1~8/6)の「男子棒高跳び」で皇學館高校3年の田中悠貴さんが4メートル85をマーク。初出場ながら5位入賞と健闘を見せた。入学当初からインターハイ出場を目標にしていた田中さん。大きな大会から遠ざかり苦しんだ時期もあったが、中学時代に全国で活躍した経験を思い返してはモチベーションを保っていたという。その間、筋トレや走り込み、基本動作、イメージトレーニングを地道に続け、今回の結果につながった。

「棒高跳びは陸上種目の中で一番高いところを跳べ、試合時間が長い分、大会の雰囲気を楽しめる」とその魅力を語る田中さん。さらに、棒が折れば命に係わるため、道具を大事に扱う重要性など運動技術以外の面についても学ぶことが多いと話した。「他の選手と比べるとまだまだ体や技術の点で劣っている。基本の動作を大切に、もう一度全国の舞台で活躍できるよう試行錯誤を繰り返しながら全力で取り組んでいきたい」とさらなる飛躍を誓った。



110mハードルで惜しくも準決勝敗退 “感謝”を忘れず、上位をめざす

第45回 全国中学校陸上競技選手権大会

8/18~21 ◆ 岡山

藤田晃輝さん(皇中3年)

8月18日から21日にかけて岡山県で開催された全国中学校体育大会・陸上競技の「男子110mハードル」に藤田晃輝さん(皇中3年)が出場した。予選10組に登場した藤田さんは14秒85の好タイムで1位通過。続く準決勝1組では14秒65と予選より0.2秒縮めるも4位となり、決勝戦に進むことはできなかった。「全中に出られたのは素直に嬉しい」としながらも、

「入賞することが目標なので、出場はあくまでも通過点」と語る藤田さん。「ハードルは走るスピードだけでなく、敏捷性や柔軟性、筋力など体力的、技術的にさまざまな力が必要。言い換えれば、工夫次第でタイムを縮めることができる」と前向きだ。さらなるレベルアップを図るため、たくさん食べ、十分に睡眠をとり、規則正しい生活を心掛け体作りに励んでいるという。ハードル競技から学んだ座右の銘は「油断大敵」。レースでは障害物に足をぶついたりこけたりして何が起きるかわからないため、注意を怠らず、最後まで気を抜かないことが大事と話す。「たくさんの人に応援される選手になるためにも、感謝の気持ちを忘れず、全国上位をめざしたい」と藤田さん。今後の活躍に注目だ。



悲願の全日本ジュニア初出場 経験積み、「勝てる選手になる」

平成30年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

9/8~9 ◆ 埼玉

石井咲帆さん(教育2年)

本学教育学科2年の石井咲帆さんが全日本ジュニア柔道体重別選手権大会に悲願の初出場を果たした。残念ながら初戦敗退となったが、「他の選手のレベルを知り、このままじゃダメだと強く感じた。自分も出場するだけでなく、勝てる選手になりたい」と闘志を燃やしている。

過去3回、本大会の出場をかけた東海予選で敗れ、涙を飲んだ。それだけに、ジュニア枠最後となる19歳の今年、本大会への切符をつかむことができ、喜びもひとしおだったという。メンタル面を鍛えるため、乱取り稽古や腕立てをしている最中も「誰よりも良い練習をして、誰よりも強くなる」と頭の中で念じていると話す石井さん。今後の目標を伺うと、「佐藤先生をできるだけ『日本一』に近い監督にすること。今の自分には力がないので、コツコツ努力して日本一への土台を積み上げていく」ときっぱり。そのためにも、「プラス1の行動と勝つための努力が必要。何があっても下を向かず、前だけを見ていきたい」と決意を新たにしていた。

なお、石井さんは9月29・30日に開催される全日本学生柔道体重別選手権(4面参照)、11月3・4日の講道館杯全日本柔道体重別選手権大会にも出場する。



山城美菜さん(教育4年)が キンボールスポーツ・アジアカップの日本代表に!

本学教育学科(スポーツ健康科学コース)4年の山城美菜さんが「キンボールスポーツアジアカップ2018」の女子チーム日本代表メンバーに選出され、10月14日に中国・吉林省で開催される同大会に出場することが決まった。「海外の強い選手と勝負できることが楽しみ。日本代表として責任感をもって挑み、勝って金メダルを取りたい」と意気込みを語る山城さん。大会の様様、結果については次号77号にて報告する。

【キンボールスポーツ】直径122センチ、重さ約1キログラムのボールを使って3チーム(各チーム4人1組)が「打つ(ヒット)」「拾う(レシーブ)」を繰り返し、ボールを床に落とさないようにして点数を競うスポーツ。1986年にカナダで体育教師をしていたマリオ・ドゥマース氏が考案した。世界で500万人超の競技人口があるとされ、平成29年には東京で国際大会が開かれた。



実践的な防災技術を学ぶ

伊勢防災センターで体験学習

防災に関する知識や技術を身に付け「もしも」の場合に備えようと、7月13日(金)の午後、全校生徒が伊勢防災センターを訪問した。震度7の揺れを体験したり初期消火や浸水してくる自動車からの脱出、AEDの使い方、心肺蘇生法を学ぶなど、映像と機材を駆使した実践的な内容にどの生徒も「非常に勉強になった」と語った。以下に生徒たちの感想を紹介する。



災害時に役立つものの結び方を習う

- 実際の映像と合わせてシミュレーションできたのですごく良かった。
- 消火器の取り扱い方が一番勉強になった。
- 震度7という想像を超える揺れに、いつ起こるか分からない地震の怖さを改めて知った。
- 南海トラフ大地震の影響についてのビデオを見るのは初めてで、胸に迫るものがあった。改めて避難の仕方や経路が正しいか確認したい。
- ひも一本で救える命があることを知り、結び方を忘れないでおこうと思った。
- いざというとき自分は何をすべきなのかをしっかりと考えておかなければならないと思った。

なお、8月31日には高校との合同地震避難訓練も実施された。

640組が充実のカリキュラムを体感

三重県私立中学校フェア

7月22日(日)にメッセウイング・みえにて三重県私立中学校フェアが開催された。小学校の英語教育が大きく注目を浴びる中、本フェアでは大阪イングリッシュビレッジを迎え、「英語」体験をテーマに実施された。本校もゴードン先生、エリック先生を中心に英語科教員が体験授業を担当。多くの小学生が英語に親しみ、楽しく時間を過ごした。また、日本文化同好会が箏曲をステージで発表。さらに、社会科は日本各地の難読な地名を取り上げ、その特産品や文化に迫るという夏休みの自由研究に役立つ小学生向け講座を実施した。



英語教育への高い関心が見られたフェア

40度に迫る猛暑の中だったが、640組という来場者を迎え、私立中学校のきめ細かく充実した教育を存分に味わっていただくイベントとなった。

俳人・宇多喜代子さんが特別授業

「子供 夢・アート・アカデミー」事業

数々の受賞歴を誇り、現在「NHK俳句」の選者も務めている俳人の宇多喜代子さんが8月28日に来校。宇多さんの手ほどきを受け、3年生38名が俳句作りに取り組んだ。

これは、文化庁等が主催となり実施している「子供 夢・アート・アカデミー」事業の一環。生徒たちは季語や定型など俳句の基本について習った後、夏の季語の創作や穴埋め俳句に挑戦した。「二学期にきらきらひかる」に続く下五を考えるお題では「汗しずく」や「転校生」などが回答に上がり、宇多さんは「俳句の答えは一つではないことがわかったと思う。大事件



俳句の魅力や創作について語る宇多さん

でなくていいから、自分が心を動かした小さなことを表現するのを大事にしてほしい」と熱く語った。また、季節を敏感に感じ取る大切さについても触れ、「うつむいてばかりでは見逃してしまうことがたくさんある。外を眺め、風を感じて」と呼び掛けた。

高校

「英語力」と「絆」を得た語学研修

第17回オーストラリア語学研修報告

夏 休み期間の7月23日～8月5日の2週間、オーストラリア・メルボルンにおいて語学研修を行った。姉妹校であるローズヒル・セカンダリーカレッジとの交流も今年で17年目を迎え、両校の信頼関係は益々強固なものになっている。今年



語学力の向上だけでなく、絆も深める機会となった語学研修

年の語学研修には進学コース4名、特進コース4名、6年制コース3名、合計11名の生徒が参加した。

語学研修は確かに楽しいことも多いが、つらくて困難なこともある。異文化で生活するという事は想像以上に大変なことなのだ。そんな時に頼れるのが、一緒に来ている仲間たちだ。4月当初は所属コースも違い、どこかぎこちなかった生徒たちだったが、事前指導を通して仲良くなり、気が付けばお互いを助け合い、信頼しあう一つのチームとなっていた。その絆は抜群のチームワークとなり、様々な場面で素晴らしい成果を残し

た。地元の小学生に日本文化を教えた際、小学生はもとより小学校の先生方にも喜んでいただいた。最終日にはダンスと歌と英語でのスピーチで、ホストファミリーとローズヒルの先生方に感謝を伝え、素晴らしい時間を共有できた。

語学研修で得られるものは英語学習の機会だけではない。仲間と共にアイデアを出し合い、困難を乗り越える大切さ、素晴らしさだ。英語力とともにこれからの時代に必要なこのことを、語学研修生たちがそれぞれ自分の将来に役立ててくれたら幸いである。

中高合同

体験授業で学びの環境を実感

2018年度オープンスクール

本年度1回目となるオープンスクールが高校単独では9月1日(土)、中高合同では翌2日(日)に開催された。今回は皇學館大学記念講堂をメイン会場とし、高校の一教室を中学・高校・大学の説明会場として開設することで全学一体のつながりを感じられるよう企画したところ、中高あわせて約1,350名が来場。悪天候に見舞われた日程であったが、両日ともに盛会のうちに幕を閉じた。

私立ならではの質の高い充実した学校生活を体感してほしいと、学食や授業の“体験”が盛り込まれた今回のオープンスクール。1日の高校単独開催はまず上村桂一校長の挨拶に始まり、生徒代表からの歓迎の言葉のあと、入試担当者より学校の取り組みやコース、入試の概要についての説明、生徒から学校生活の紹介がなされた。その後、吹奏楽部による歓迎コンサート、学食体験、高校施設見学、クラブ見学へと進んだ。2日の中高合同開催では校長挨拶、高校



両日ともかき氷や家庭部製作のクッキーなどが無料で提供される「イベント広場」が設けられた

の説明のあと生徒による学校紹介や中学校入試担当者による入試説明がなされた。休憩をはさみ、中学生は前日と同様の企画へ、小学生は学食・授業・部活・制服の体験などで本校を楽しんだ。理科の体験授業ではスーパー紙飛行機を製作し、より遠くへ長時間飛ぶ工夫を試行錯誤しながら考え、空気抵抗における物理学に触れた。他にもタブレット端末を使い思考力をアップさせる算数の授業や楽器体験を行った吹奏楽部、基礎打ちを中心にラリーを楽しんだバドミントン部体験などが実施された。また、本校在校生のおもてなし対応も来校保護者からお褒めの言葉をいただいた。

今後も中高それぞれにオープンスクールを企画しており、高校は10月13日(土)、11月18日(日)、中学校は11月11日(日)に開催予定。さらに多くの参加を期待している。



現在「三重県吹奏楽コンクール」において6連覇中の吹奏楽部による歓迎コンサートが実施された

中学校

イベントカレンダー

各講座の詳細につきましては本学ホームページにてご確認ください。その他、お問い合わせは皇學館大学地域連携推進室(0596-22-8635)へお願い致します。

🕒時 📍所 (🎓本学 🏠他) 🎫料金 🧑対象 📅予約 🗨️問合先

10月	
12金	皇學館大学・三重県生涯学習センター連携協定事業 NIPPONの原点を学ぶ 三重の魅力発信セミナー 三重県の誕生と府県のかたち 講師●谷口裕信(文学部准教授) 🕒19:00～ 📍三重テラス 🎫無料 🧑一般 📅必要 📍三重県生涯学習センター 059-233-1151
20土	佐川記念神道博物館教養講座 伊勢学事始Ⅰ 第3回「伊勢志摩から考えるこれからの地域コミュニティ」 講師●千田良仁(教育開発センター准教授) 🕒14:00～ 📍佐川記念神道博物館講義室 🎫無料 🧑一般 📅必要(60名) 📍佐川記念神道博物館 0596-22-6471
21日	第19回高校生英語スピーチコンテスト 🕒9:15～ 📍431教室 🎫無料 🧑一般 📅不要 📍文学部コミュニケーション学科研究室 0596-22-6472
11月	
10土	研究開発推進センター史料編纂所古文書講座 第2回「近世文書を読む」 講師●谷戸佑紀(研究開発推進センター共同研究員) 🕒14:00～ 📍佐川記念神道博物館講義室 🎫無料 🧑一般 📅必要(60名) 📍研究開発推進センター 0596-22-6466
17土	月例文化講座 心身の健康からみた伊勢神宮の魅力 講師●小木曾一之(教育学部教授) 🕒14:00～ 📍431教室 🎫無料 🧑高齢者向・一般 📅不要 📍地域連携推進室 0596-22-8635
24土	佐川記念神道博物館教養講座 伊勢学事始Ⅰ 第4回「伊勢における商人の町 河崎」 講師●西城利夫(伊勢河崎商人館事務局長) 🕒14:00～ 📍佐川記念神道博物館講義室 🎫無料 🧑一般 📅必要(60名) 📍佐川記念神道博物館 0596-22-6471
12月	
1土	研究開発推進センター史料編纂所古文書講座 第3回「近世文書を読む」 講師●谷戸佑紀(研究開発推進センター共同研究員) 🕒14:00～ 📍佐川記念神道博物館講義室 🎫無料 🧑一般 📅必要(60名) 📍研究開発推進センター 0596-22-6466
8土	月例文化講座 伝統産業資源から見た伊勢神宮の魅力 講師●新田 均(現代日本社会学部教授) 🕒14:00～ 📍431教室 🎫無料 🧑高齢者向・一般 📅不要 📍地域連携推進室 0596-22-8635

近鉄文化サロン阿倍野 共催講座

会場●近鉄文化サロン阿倍野
詳細は近鉄文化サロン阿倍野(06-6625-1771)へお問い合わせください。📄有料・要予約

10/ 6 📅 15:30～

1日・短期講習会『伊勢参宮名所図会』を読む
「膳所から石山寺」講師●岡野友彦(文学部教授)

10/13 📅 15:30～

古事記を読み解く―雄略天皇後半
～推古天皇の段「雄略天皇(下)」
講師●白山芳太郎(文学部教授)

10/20 📅 15:30～

1日・短期講習会 風土記の魅力
講師●橋本雅之(現代日本社会学部教授)

10/27 📅 15:30～

神道と仏教―神仏習合と神仏分離―
「佐渡島における神仏習合と神仏分離」
講師●河野 訓(文学部教授)

11/10 📅 15:30～

古事記を読み解く―雄略天皇後半
～推古天皇の段「清寧天皇～顕宗天皇」
講師●白山芳太郎(文学部教授)

11/17 📅 15:30～

1日・短期講習会『日本書紀』を読む
「景行天皇(1)」講師●大島信生(文学部教授)

12/ 8 📅 15:30～

古事記を読み解く―雄略天皇後半
～推古天皇の段「仁賢天皇～宣化天皇」
講師●白山芳太郎(文学部教授)

12/15 📅 15:30～

1日・短期講習会『日本書紀』を読む
「景行天皇(2)」講師●大島信生(文学部教授)

12/22 📅 15:30～

神道と仏教―神仏習合と神仏分離―
「苗木藩における神仏習合と神仏分離」
講師●河野 訓(文学部教授)

Information
インフォメーション

平成31年度 皇學館高等学校・中学校入試情報

出願が始まります

詳しくはホームページの募集要項をご覧ください

皇學館高等学校

募集定員	340名(内部進学者含む) ※予定
募集コース	進学コース・特別進学コース
願書受付	平成31年1月8日(火)～1月15日(火) 9:00～15:00 (土・日および祝日は除く)
試験日	平成31年1月25日(金)
教科	国語・数学・英語・理科・社会

オープンスクールのご案内

下記日程以外の見学も可能です。詳しくはお問合せください。

第2回オープンスクール「入試問題を知ろう!」
10月13日(土) 10:00～13:00
学校説明、入試説明、吹奏楽部によるミニコンサート、学食体験、入試過去問題解説(英語・数学・理科) など

第3回オープンスクール「クラブ活動を知ろう!」
11月18日(日) 午前の部10:00～13:00 午後の部13:30～15:30
学校説明、入試説明、吹奏楽部によるミニコンサート、学食体験、生徒によるクラブ紹介 など

※筆記用具、スリッパをお持ちください。参加者の皆さんには学生食堂での昼食を準備しています。校舎見学後のクラブ活動の見学も承っています。保護者の方々もご参加いただけます。

皇學館中学校

入試方式が変わります! 新たな学力観が求められるなか、本校では平成31年度入学試験より英語を選択科目に加えるなど国際的な視野と豊かな感性を持つ人材の育成に積極的に取り組んでいます。未来を見つめ、力強く生きるみなさんの入学をお待ちしています。

募集人数	A日程(一般・専願)・B日程併せて	70名
	A 日 程	B 日 程
出願期間	12月10日(月)～平成31年1月9日(水) 9:00～15:00(土曜日は正午まで) ※12月16日(日)、12月22日(土)～24日(振・月)、 12月28日(金)～1月6日(日)を除く	平成31年 1月21日(月)～30日(水) 9:00～15:00 ※1月26日(土)・27日(日)を除く
試験日時	平成31年1月12日(土) 8:50～	平成31年2月2日(土) 8:50～
試験教科	一般 国語・算数・社会・理科・英語 ※国・算必須。社・理・英から2科選択し、得点の高い1科採用 専願 国語・算数 ※英語外部試験の有資格者に加点	国語・算数

オープンスクールのご案内

第3回オープンスクール ～皇學館の学びを体験しよう～
11月11日(日) 9:30～ 学校説明・入試説明・入学試験対策授業 など

※HPにて申込が必要になります。約1カ月前から受付開始予定です。

第57回 倉 陵 祭 10/27土・28日

クラブによる模擬店・展示・ステージ発表や子ども広場、伝統体験等、多彩な企画を計画中! 詳細は「倉陵祭」のホームページを随時更新し、お知らせします。

講 演 会 10/27土

開演●15:30～(開場は15:00)

会場●皇學館大学記念講堂

入場無料・予約不要・先着順

私の柔道哲学

講師●井 上 康 生 氏

全日本男子監督、東海大学体育学部武道学科准教授



1978年7月生まれ。宮崎県出身。東海大学付属相模高等学校を経て、東海大学体育学部武道学科卒業。同大学大学院体育学研究科修士課程修了。切れ味鋭い内股を武器に、大内刈、大外刈、背負投げなどを得意とする攻撃型柔道で数々の結果を残した。99.01.03世界選手権100キロ級で優勝。00年シドニーオリンピック100キロ級で金メダルを獲得。01～03年全日本選手権優勝。08年に第一線を退き、09年より2年間、英国に留学。帰国後の11年から全日本強化コーチ、12年11月より全日本男子監督を務める(現在2期目)。東海大学体育学部准教授。

アーティストライブ 10/28日

開演●16:30～(開場は16:00)

会場●皇學館大学記念講堂

入場無料・要整理券

※整理券配布の時間等は倉陵祭HPでお知らせいたします。

フレデリック

三原健司(Vo./Gt.)、三原康司(Ba.)の双子の兄弟と、赤頭隆児(Gt.)、高橋武(Dr.)で編成されるロックバンド。ユーモアに富んだ歌詞と中毒性の高い楽曲が話題となる中、MASH A&Rオーディション初年度の特別賞を受賞。2016年にメジャー1stフルアルバム「フレデリズム」をリリースし、今年4月には初のアリーナワンマン公演を行い、大成功を収めた。どのシーンにも属さない「オンラインワン」の楽曲とそのスタンスに注目が高まっている。



問合せ●学生支援部 学生担当 0596-22-6317

皇中祭開催

テーマ

美しい虹を架けよう～可能性は無限大～

日時●10/20土・21日 9:00～

場所●本学記念講堂、皇學館中学校舎

※本校に入学を希望する小学生とその保護者は見学が可能

今年度は3年に一度の大きな皇中祭。両日とも外部よりゲストをお招きし、記念公演を行います。詳細は追って本校ホームページ等でお知らせいたします。たくさんの方のご来校をお待ちしています!

1日目

【記念公演】栗コーダーカルテット

1994年に結成。現在は栗原正己さん、川口義之さん、関島長郎さんの3人で活動している。NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」をはじめ印象に残るサウンドを次々と世に生み出し、映画、テレビ、CMへの楽曲提供を含め、参加CDは100を超える。

- 合唱コンクール
- 吹奏楽同好会・日本文化同好会発表

2日目

【記念講演】池 田 洋 介 氏

ジャグリング、バントマイム、マジックを巧みに融合させ、その斬新なアイデアと緻密な構成が全世界で絶賛されているプロパフォーマー。河合塾で数学講師も務めており、マルチな才能を発揮している。

- クラス展示
- 生徒作品展示
- 保護者バザー
- 合唱同好会発表

例えば…

- 博物館や美術館の無料公開や特別展示
- 伝統芸能・工芸の鑑賞会や体験講座
- 地域住民が日頃の活動成果の発表を行う市民文化祭
- 図書館、公民館などでの各種講演会・講座
- 大学等における公開講座
- 子供向けの自然体験教室 …等々

興味のあるイベントにぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

詳しくは
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/kyoiku-bunka/



11月1日から7日は「教育・文化週間」です

教育・文化週間は教育や文化への関心と理解を深め、充実・振興を図ることを目的として設けられ、今年で60回目を迎えます。本週間の期間中には、全国各地で教育・文化に関するさまざまなイベントが開催されます。

2年連続 出場! 秩父宮賜杯^{第50回}全日本大学駅伝 対校選手権大会 応援ガイド

11/4^日 午前8時5分～ **コース** 熱田神宮西門前→伊勢神宮内宮宇治橋前 8 区間 106.8km

皇學館大学駅伝競走部が2年連続で全日本大学駅伝本選への出場を決めました。
今大会は総距離は同じながら第1～6中継所の位置が変わるため、
新たなレース展開が予想されます。“チーム皇學館”の一員として、
温かいご声援をよろしくお願いします。

平成最後の全日本大学駅伝を 「チーム皇學館」で 快走しましょう!

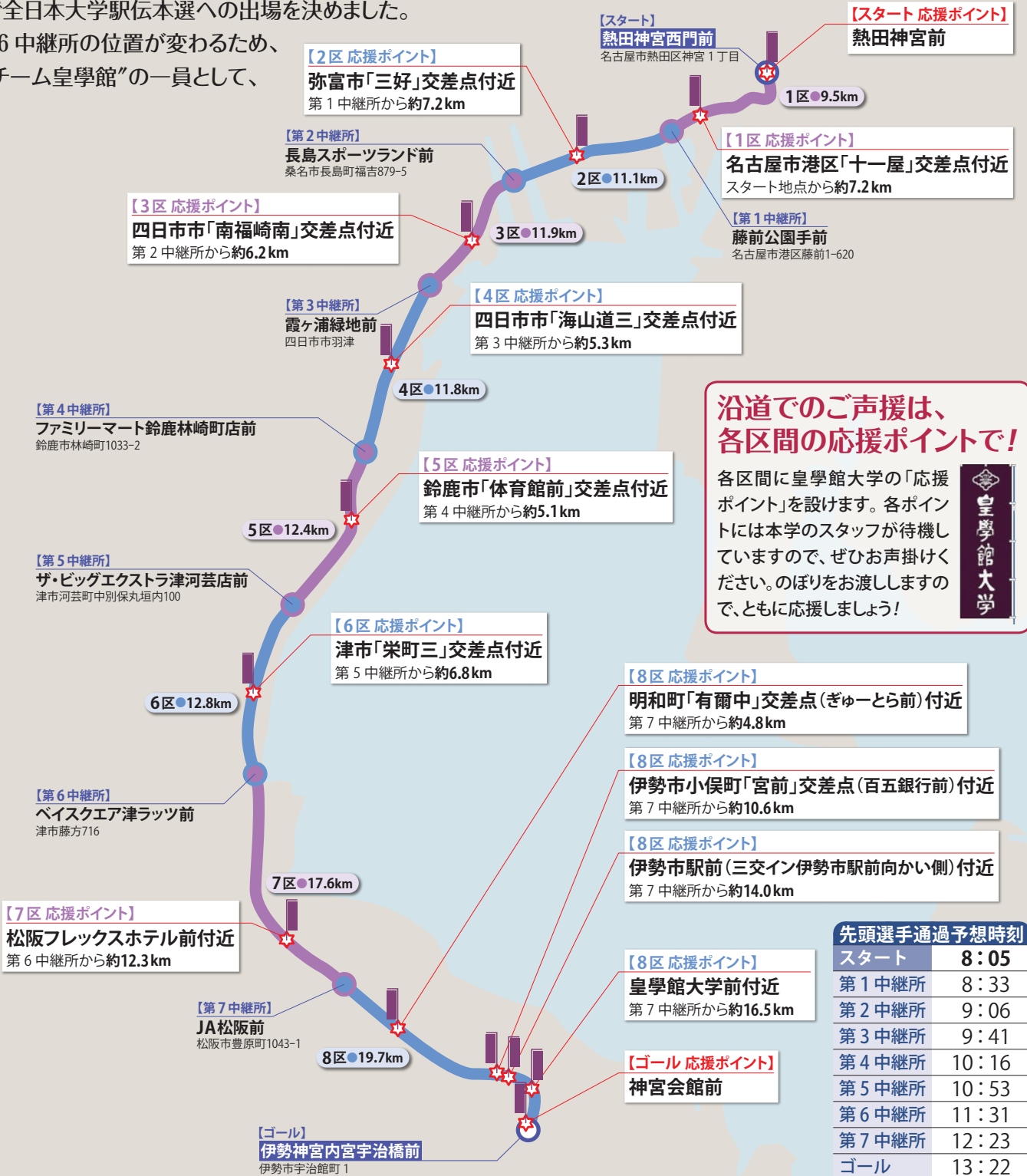
駅伝競走部監督
日 比 勝 俊



日頃より駅伝競走部の活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。第50回を迎えた全日本大学駅伝に2年連続で出場します。初出場した昨年は目標の17位を達成できました。襷を途切らすことなくゴールしたのは、1988年以降、初出場の非関東校では初めてでした。選手はもちろん、サポートに回った部員たち、大学関係者、そして沿道やテレビの前で声援を送っていただいた「チーム皇學館」の総力でつかんだ結果だと思っています。今大会より区間が変更され、昨年とは違った駅伝競走が展開されると予想されます。昨年以上にたくましさも増した選手たちが、再び伊勢路を駆け抜けてくれると確信しています。平成最後の全日本大学駅伝。「チーム皇學館」で快走しましょう!

応援に際してのお願い

- 鳴り物での応援は禁止されています。
- 応援は必ず歩道上で行ってください。歩道から手や体の一部を乗り出して応援することは禁止されています。
- のぼりをガードレールなどの沿道公共物にくくりつけることは道路交通法違反となります。のぼりは手で持って応援してください。
- 応援ポイントはあらかじめ許可をいただいている場所ではありませんので、まわりの皆様のご迷惑にならないようご配慮をお願いします。また、周辺に無断駐車、違法駐車をされませんよう、よろしくお願いします。



沿道でのご声援は、
各区間の応援ポイントで!

各区間に皇學館大学の「応援ポイント」を設けます。各ポイントには本学のスタッフが待機していますので、ぜひお声掛けください。のぼりをお渡ししますので、ともに応援しましょう!

先頭選手通過予想時刻	
スタート	8:05
第1中継所	8:33
第2中継所	9:06
第3中継所	9:41
第4中継所	10:16
第5中継所	10:53
第6中継所	11:31
第7中継所	12:23
ゴール	13:22



鈴木 翔也
(教育1年)



市川 駿希
(教育1年)



松原 隼斗
(国文1年)



金森 拳之介
(現日2年)



上村 直也
(教育2年)



平野 恵大
(現日3年)



新美 健
(教育3年)



山下 大地
(教育4年)



本 塚 舞
(神道1年)



梶 野 恵加
(教育2年)



加藤 元紀
(教育1年)



田中 翔大
(国史1年)



川瀬 翔矢
(現日2年)



平山 寛人
(教育2年)



田邊 隼都
(国史2年)



大河内 雄登
(現日3年)



山下 慧士
(国史3年)



緒方 香津貴
(教育1年)



松下 日花里
(教育2年)



齊藤 希龍
(教育1年)



原田 翼
(コミュ1年)



桑山 楓矢
(現日2年)



宮城 響
(教育2年)



安岡 里哉
(コミュ2年)



奥野 夏希
(現日3年)



金谷 智顕
(教育3年)

駅伝競走部メンバー



駅伝競走部主将 上村 一真(教育4年)

応援に力を得て、 皇學館の強さを見せたい

二年連続出場というところで、関東の大学と互角に戦えるよう準備をしてきました。区間変更により七・八区の距離が長くなった分、前半で流れをつかみ、後半はぐらいついていきたいと思っています。一人ひとりが力を出し切って襷を繋ぎ、皇學館大学は強いんだというところを見せたいと思います。七位以上の成績をめざしてがんばります。